

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 12

2022年2月28日発行



2月の聖句

『どんなことにも感謝しなさい』（聖パウロの言葉 テサロニケの信徒への手紙 5:18）

私たちは、たとえそれが正当性を持った言葉であっても、否定的な言葉を浴びせられつづけるなら、こころが萎縮し、不安に陥り、成長が妨げられます。

私たちは、感謝の言葉を受けつづけるなら、こころに祝福を受け、平和をいただいて、成長する者となります。そして、どんなことも感謝できる者に変えられてゆきます。

神さまは、わたしたちをダメな存在として断罪しません。わたしたちを愛する子として根源的肯定「大いなる有難う」を告げてくださいます。いつでも、どこでも、そこからスタートする大切さを学びたいのです。

チャプレン 司祭いけだとおる

かしこくたくましく成長しています



ある日のしくまこま組。制作の説明をしている先生の方を全員が「ぴーっと」顔を向けて目をキラキラさせてるではありませんか!! この子たち（ほんとに）3歳にふったばかり!?!と「あーいはい、びっくり。」（まこ）

実はこのとき、「はじめてハサミを使う」説明をしていただけです。こどもたち自身も「これはちゃんと聞かないと!」と緊張していたんですね。大事な感覚だね。持ち方も切る場所かなどをきちんと聞いていたので、まちがってするお友達はいなかったそうです。プワポポ!!!



2月22日はぐりとぐら組さん9、まにまたソリ遠足でした。なんと1時間以上夢中で遊んだ。そうぞう。さむいとか、「わかれた」といふ人はひとりもいなく、ただ「あつたべたいから（はやくかえろう!）」というおともたちはいたぞうですよ。長いお友をどんどん登ってはすべり、みんな大喜び。集中して遊ぶ姿も「お部屋でも見られ、今はHABA社のクーゲルバートピタゴラスイッチのように遊ぶのに夢中。またらの塗り絵もすぐ上手になり、「先生がいらないんじゃないか」と思うくらい全員が集中して遊んでいるぞうです。

たくましく、「凛」と輝いています



こんとあき組のみんなは初のあるくスキーで初の1回目は坂で転んで立ちあがるのに時間がかかっていたお友だちも2回目からは買ったものです。前のお友だちが立ち上がるまで「ちゃんまとっろぞもすてまじす。」

あるいてかえるぞー
エイエイオー!!!

片づけもひとつも早くバズがくるだいたい前準備が済ませました。すると「歩いて帰れる!」「歩いて帰りたい!」の大合唱! すてい元気と陽気です。

エルマーとリゆう組さんは、いよいよお父さんお母さんをお招きしてお茶会です。今年コロナのため、おけいこの回数文がものすごく少なかったのです。2学期のずいぶん前の内容も覚えていて思い出して自信を持って元気張ってくれました。



このクラスは今まで転園などお別れも多かったクラスでした。それでも元気いっぱいパワーはみな皆でけたが、最近、卒園式の練習中。ホロホロ...と涙を流すお友だちも皆がもうすぐお別れだとわかっていて、さみしい気持ちでいっぱいなんです。

緊張するこどもたちを優しく見守って下さったお父さんお母さん、そして持病もありながら命をかけたお茶のバを教えて下さった宗久先生、本当にありがとうございました。

平和は一步一步積み上げて

平和な世の中がこんなに簡単に崩れるのか!...と、ウクライナの人々の嘆きを見て、世界中が泣いています。誰も望まない戦争がこんなに簡単にやられること、どうやって助けたらよいかわからないことに、世界中がいら立っています。当たり前聞いていた天気予報も、世界中のデータが集まってやっと可能になる「平和の象徴」だと知りました。天気予報どころか、地球の環境保全も、全世界が協力しなければできない事なのに...! 私たちにできることはなんでしょう。

私たちの教会「聖公会」は英国国教会ですが、ウクライナ正教会の礼拝のために、東京の聖オルバン教会の礼拝堂を提供しているそうです。心をひとつにして、多くの命が守られるようにお祈りしましょう。